



WEEKLY REPORT

意識を喚起し、進んで行動を!!

第1656回 例会プログラム 2000.8.17. No.6

例会場：御殿場館

開会点鐘：12:30

ロータリーソング：それでこそロータリー

内容：会員拡大月間に因んで

会員増強委員会

会員慶事

会員誕生日

8月17日 小早川豊一君

8月20日 斉藤礼志君

皆出席

8月10日(5年間) 藤田昇司君、渡辺巖君、

臼井良太君

8月12日(11年間) 内海宣彦君

会長挨拶 田代 博久



我がクラブの出席率は、地区の中ではトップ級を維持しておりますが、ロータリー生活の中で定着した一つの習慣としてみなしても良いのではないかと思います。

私たちの日常の中でも習慣として生かされているものは

数多くあると思います。

スイスの文学者アミエルの言葉に「人生の行為において習慣は主義以上の価値を持っている。何となれば習慣は生きた主義であり、肉体となり、本能となった主義だからである。

主義を改造するのは、なんでもないことである。それは書名を変えるほどのことにすぎない。新しい習慣を身につけることが大事である。それは生活の核心に到達するからである。生活は習慣の織物にほかならない」と。

習慣は第二の天性であるとも云われている。しかし習慣は一面において人間の意識感覚をにぶくさせるという悪作用をもっている。私事になりますが、かつて市議会議員になったときがありましたが、数年たって、妹いわく「お兄ちゃん、最近横柄 になったわよ」と。私には気がつかなかったが、人とかくちやほやされると、それが当然

のように考えるようになる、一種の思い上がりである。これは、習慣がもたらした悪習慣である。

人間の意識感覚にはある範囲があって、それがはずれると無意識感覚になる。

光も音もある一定の範囲を越えると、われわれにはわからなくなる。

例えば人間が一人殺されると大きな衝撃を感じるが、戦争で大勢殺されても遠く離れていると単なる数字としか感じられない。

ロータリアンは、R I へのかかわりのなかで、意識感覚の範囲が広がっていると思います。それがロータリーの良さかもしれない。

一般的に自分のまわりだけを思う人が多い中で意識感覚の範囲を更に広くしていくことは大切でなかろうかと思います。

今日は社会奉仕委員長、国際奉仕委員長の所信表明があります。楽しみにしております。

第2620地区御殿場ロータリークラブ

例会日/木曜日 12:30 ~ 13:30

例会場・事務局/YMCA東山荘

電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138

<http://www.gotemba-rc.gr.jp//>

静岡県御殿場市東山1052

会長/田代 博久 会報委員長/臼井 良太

BE A TRUTHFUL ROTARIAN!

社会奉仕委員会 勝又 重春委員長



当委員会の活動は、まず第一に『水』をテーマに学習したいと思います。水を取り上げた理由は、川や水辺の環境悪化に対して富士山の恵み、湧水、水系緑地、田園風土が醸し出す「ごてんば、おやまの原風景」を再認識し、その学習成果としてメダカ、ホタル、沢ガニがいる身近な「せせらぎ」が話題になればと思います。具体的には、湧き水ウォッチング、水(川)の学習会を9月から11月に計画します。

その他の活動

- ・ボランティア参加：富士山一斉清掃、8月20日
- ・地区委員会の方針に協力
 - ・地球環境再生植林フォーラム 協力金1000円/人、年
 - ・富士山美化運動 協力金1000円/人、年
- ・2620地区においての活動の考え方
- ・理論より行動を
- ・特に環境保全に関心を
- ・単年度事業とする(地域社会とRCが一緒の事業が80%)
- ・4つの目標は、協同奉仕、地域発展、人間尊重、環境保全(人づくりが基本)
- ・寄付金目的事業要請は断る、参画しない

結びとして21世紀、「人と地球にやさしい」をテーマに地球環境に配慮し、特に水や森や土地は保護や守り一辺倒では環境保全できません。そこで整備や開発や保全の社会ルールに基づき、環境と共生する考え方が、良好な環境を次世代に引き継ぐためにも必要になります。

このようなことから「水」にこだわった学習活動をしたいと思います。

国際奉仕委員会 水口 正宏委員長



今年度、当委員会としては6つの項目をあげた。しかしながらRCの国際奉仕は個人やクラブ単独の事業は公に認められないので、地区の指示や指導を受けて立案すべきものとして7月20日の地区委員会の開催を待ったが、なしのつづてで開催されず、ガバナー月信2に地区委員長が一方的にコメントを発表したことは遺憾なことである。

2620地区の組織のうへでは『国際奉仕委員会』に「世界社会奉仕委員会」と「青少年交換委員会」が所属している。したがって、4月の地区協では専ら「世界社会奉仕」と「青

少年交換」プログラムの話題に終始した。

青少年交換プログラムは、毎年80カ国の8000人～10000人の青少年(15～19歳までの学生)に国際理解の種をまく機会を提供している事業で、LCでもこれによく似たユース・エクスチェンジ事業を行っている。

この事業に関する2620地区の傾向と、要望は以下のとおりです。

1. アメリカ、オーストラリア、ニュージーランドなどの英語圏への派遣希望が多く、偏りがある。
2. アウトバンド(派遣)要望が多く、インバンド(受け入れ)が少ない。
3. 応募学生の減少と質の低下現象が見られ、問題化している。
4. 静岡第1、第2分区の実績が低い。(過去10年間、三島RCのみでほとんどゼロに近い)故にワンウェイでも良いのでホストを要請されている。(過日長泉RCからニュージーランドへ派遣された笹井さんの例)
5. 予算面で、各クラブに応分の分担金を要請したい。

つぎに「世界社会奉仕」関連のWCS(同額補助)事業について

1. 2000\$以上の支援プログラムは競争による決定。1000\$の場合は非競争。
 2. うまくマッチングしなければならず、相手方クラブを抱き込まなければ成功しない。個人対個人もダメ。
 3. 好意が無になることもあり、安易に取り組むと空振りに終わる。
 4. 同額補助を活用しての「ジープ援助(駿河RC)」の事例4年間にインドのクラブ(1駿河(4地区(5財団(10)の割合で2万\$でジープ1台を購入し、辺地無医村の診療向上、文盲撲滅運動支援に。
 5. 「世界社会奉仕」資金として地区で200万\$を確保するために、一人500円づつ分担してほしい旨要請。
- 以上のような経過をたどってきているため、副委員長を始め各委員との協議も満足にできなかったことを委員長としてお詫びするとともに、今後到来する委員会関連事業へのご協力を切に願います。

8月10日のスマイルボックス

おじゃまします。

浜野堅照さん

8月6日のローターアクトの出店は皆様ロータリアンの協力により無事終了することが出来ました。生ビールは全て完売しました。アクターも熱海、富士吉田、沼津から応援に駆けつけてくれました。協力いただいた皆様には心からお礼申し上げます。

ローターアクト委員会

去る8月3日、日韓友好交流会主催、鄭教授文化交流会が林準会長はじめ会員の皆様の協力により、盛会のうちに開催出来ましたことに感謝申し上げます。

梶原一正

前回の出席報告

会員数	計算に用いる 会員数	出席数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
64名	62名	50名	80.65%	100%

欠席者(12名)

天野眞一郎君、神谷高義君、勝間田豪亮君、勝又敏樹君、根上陽一君、岡本隆典君、芹澤正明君、嶋田泉太郎君、堤坂亨司君、高村繁男君、滝口喜徳君、内海宣彦君

メークアップ(12名)

7月7日 アクト 渡辺 巖君
7月19日 長 泉 石田 恩君
7月21日 沼 津 大森 清治君
7月27日 裾 野 橋本 喜市君
勝又 敏雄君
7月31日 沼津東 望月 茂君
8月2日 三 島 大庭健一郎君
長 泉 鈴木 崇司君
高村 繁男君
8月4日 富士宮西 勝又 敏樹君
8月4日 裾 野 芹澤 正明君
嶋田泉太郎君



次回 8月24日の例会

12:30 点鐘
東山荘(講堂)
インターネット最新事情
と効果的活用について
ISFnet代表取締役社長
渡邊幸義様